

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TJ-es

公表日 2026年 4月 1日

実施数 29

回収数 23

Table with columns: チェック項目, はい, どちらともいえない, いいえ, わからない, ご意見, ご意見を踏まえた対応. Rows include categories like 環境・体制整備, 適切な支援の提供, 保護者への説明等.

	19	定期的にホームページ・SNS・あしあと帳。等で、活動概要や行事予定等の情報が、子どもや保護者に対して発信されていますか	19	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TikTokで流れてくるもので息子かな？と思えるものにイイネしてる。ホームページの第何回！〇〇さんに聞いてみた！もたまあーに覗いて見たらあ〜増えていたとか。報連相は前にも書いた通り、毎回更新されなかったりするから、ガッカリもする。ちょっと嬉しいコメント息子の成長であったり、逆に息子の課題、注意された内容とか、私なりにハッとて大事な意見だなとか覚えておかないといけないエピソードはスクショします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見ていただきありがとうございます。定期的にホームページやSNSは更新しておりますので、ご確認くださいませ。</li> <li>・通所した次の日にHO-REN-SODXのコメントを更新しております。金曜日や、祝日など次の日が営業日ではない日は、次の営業日に記載しております。ご確認くださいませ。</li> </ul>
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか	20		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごめんなさい。わからない。関わり合いがないからかな？</li> </ul>	
非常時等の対応	21	事業所では、事故防止・緊急時対応・防犯・感染症等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか	8	2	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・してるのかな？逆に開きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は年2回実施していますが、通所曜日・時間・特性（大きい音が苦手など）によって参加できないことを考慮し、札幌市と相談の上、動画での避難経路等の案内が実装予定です。</li> </ul>
	22	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか	5	1	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・してるんですかね？知りたいです。</li> <li>・これから行われることと思います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は年2回実施していますが、通所曜日・時間・特性（大きい音が苦手など）によって参加できないことを考慮し、札幌市と相談の上、動画での避難経路等の案内が実装予定です。</li> </ul>
	23	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	8	1	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごめんなさい。嫌いにならないで。どうゆう事してるの？出来ないと思うよ。と思っている人。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束などは行っておりません。安全に通っていただけるよう支援してまいります。</li> </ul>
	24	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか	13	2	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは実際電話受けたのでバッチリできてます！ありがとうございます。息子の不注意でドアに顔ぶつけて自分の前歯で唇切れた時。連絡してくれました。わざわざありがとうございますです。</li> <li>・まだそのような事態になっていないのでわからない</li> </ul>	
満足度	25	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	2			
	26	子どもは通所を楽しみにしていますか	22	1			
	27	事業所の支援に満足していますか	20	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題があった場合、保護者とデイサービスと連携して対応していただけるよう、連絡を取り合っていきたいと思います。</li> <li>・欲深いので。</li> <li>・1人でゲームをする状況は家と変わらないので、なるべく誰かとコミュニケーションを取れる活動にしていたらと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が満足できるよう引き続き支援してまいります。</li> </ul>

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TJ-es		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 9日		～ 2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 3月 27日		～ 2026年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【環境面】 ・掃除を徹底し、綺麗な環境での取り組み ・1人1台パソコンが使える ・PCスキルに特化したカリキュラム ・自立度が高くなる仕組み	・汚れてしまうマウスやキーボードの掃除を徹底。汚れそうなどは気づいたスタッフが掃除。 ・自分のペースで取り組むことができ楽しむことができる。 ・本人の活動時間の中で自由に選ぶことができ、自分の好きが将来に繋がるカリキュラム。 ・タイムカードや挨拶など将来必要なスキルを学び、毎日目標も考え、考える力を身に付ける。	・常に気持ち良く使ってもらえるように環境整備。
2	【コミュニケーション/サポート面】 ・通所している学生が楽しんで取り組んでくれるような学生同士のコミュニケーションのきっかけづくり ・進路サポート ・1人1人に合わせた支援方法	・コミュニケーションが苦手な学生も楽しんでくれるようなイベントの開催や学生同士と一緒にできるようなスタッフの声掛け ・学校へ行っていない学生などの学校訪問や、就職先同行 ・スタッフ全員が把握できるよう事前の情報共有と児童の自立度が上がるような声掛け	・事業所内で面接練習をできるような環境や声掛け。 ・スタッフ間のコミュニケーションエラーが起きないように声掛け。
3	【保護者】 ・定期的な保護者連絡 ・保護者へのサポート	・個別支援計画毎に保護者へ連絡。忙しい保護者へはLINEで連絡を取れるような仕組み。 ・家庭内の心配事や不安な点を解消できるようなサポート	・定期的な保護者会などの実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【ツールの周知】 ・独自の保護者向けツール HO-REN-SO DXを見ている人が少ない	・独自のツールであるため、ログインを毎回する必要がある	・定期的な保護者連絡の際に周知
2	【地域交流】 ・地域住民や同年代の学生との交流が少ない。	・様々な区から通所しているため、事業所のある地域交流の必要性がない学生が多い ・学生ニーズがない ・事業所内での交流を大切にしたい	・eスポーツを通して、居住地域に限らず全国の中高生と交流する機会を創出したい ・学生の視野が広がる機会を作る ・系列事業所が実施する高校生ボランティアが来るイベントなどに参加
3	【環境面】 ・照明が暗い	・照明が暗い方が落ち着く児童もいる反面、明るい方がいい児童もいるため好みがかかれやすい	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TJ-es		公表日			2026年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		段差をなくし、床配線のコードレス化をしている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		スペースが広いと、離れた場所でクールダウンしたり、少人数の個室でゆっくり取り組むことが出来るようにしている			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全ての意見を業務改善に繋げられるわけではないが、通所する・している児童に必要であれば実施している			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		療育に関する研修やカリキュラムの質向上のための研修を受講している			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		令和6年3月より、ホームページにて公表			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		中高生向けのため、保護者・スタッフよりも本人の意思を最重要視し、自立・自己判断できるよう計画を作成している			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		全職員参加の支援会議を実施。必要に応じて、学校や併用している放課後等デイサービスと連絡を取り合っして支援の内容を協議することがある			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		就労系アセスメントを事業所ツールとして標準化。それ以外のアセスメント内容は、日々の支援記録に記載			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的に交流イベントを実施している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動がメインだが、本人・保護者の意思に応じて、集団での対人交流技能を学ぶ機会やチーム練習の時間も提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日始業時にミーティング実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		営業時間が遅いため、翌営業日の始業時にミーティングを行い、前日の振り返りと、当日の動きの確認を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも3ヶ月に1度モニタリングを実施している。成長度合いに合わせ、本人の意向を反映させた支援計画を作成している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		現場レベルとガイドラインでは違いが出る場面もあるため、臨機応変に適用できるようにしている	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		「正しい自己決定は、豊富な選択肢があることから」と意識し、様々な方法から自己決定できるようにサポートをしている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		営業時間内には参加。担当者会議が開かれたり、ヒアリングされることが殆どない。個別支援計画は相談支援事業所に共有	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		不登校児のサポート（出席扱い）として、密に連携を取っている	学校と連携を取り合い、学校だから学べる部分と、放課後等デイサービスだからサポートできる部分など多角的な支援ができるよう工夫して進める
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			中高生が多いため、就学前の機関と関わる機会が少ない。相談支援事業所と情報を共有することはある
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		自立サポート支援の一環として、情報共有したり連携を取って進めている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期巡回時	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		対象年齢が異なるため、交流は無い。かわりに地域の高校や、一般企業のeスポーツ部などとカリキュラを通じた交流の機会を提供している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		札幌市から案内があり、対象年齢が一致していたら参加している	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		「HO-REN-SO DX」という独自ツールを使用している。契約時にログインの説明も行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	低学年の児童がおらず、通所児童は自立心がある。保護者からの相談はいつでも受け付けており、相談体制を整えている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談がある場合は、個別相談時間を設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		半年に1回ほど保護者交流会を実施。日々の悩みを相談する場となり、「気が軽くなった」という声が多い	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページブログやSNS、「HO-REN-SO DX」などの電子ツールを活用し発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		新人スタッフ入社時やスタッフ退職時に説明し、徹底している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		「HO-REN-SO DX」というオリジナルネットワークを使用。プリントや電話やLINEなど、各家庭に合わせて対応	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民を招く行事開催が無い	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に数回建物自体の避難訓練がある	全員が見れる場所に、避難方法・避難場所に関する動画を掲載予定
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事提供を行っていない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束を行うことがない	